

平城宮跡資料館 春期企画展「永野太造作品展—草創期の奈文研を支えた写真家—」

かつて奈良文化財研究所に“美術工芸研究室”があったのをご存知でしょうか。現在の奈文研は、平城宮跡や飛鳥・藤原宮跡の発掘調査をはじめ、遺跡の整備活用、文化的景観の調査研究等に取り組んでいます。しかし1952年に奈文研が設立された目的は、文化財の宝庫である奈良の地で、古建築や古美術品を総合的に研究し、その研究成果を文化財の保護行政に役立てるためだったのです。1980年に奈良国立博物館仏教美術資料研究センターに移管されるまで、美術工芸研究室はその一翼を担いました。

その調査に同行し、写真撮影をおこなったのが永野太造氏です。奈文研の写真台帳に最初に登録された写真は永野氏によるものであり、奈文研には15年間にわたって永野氏が撮影した文化財写真が数多く残されています。そこで今回、写真パネルやガラス乾板、撮影機材等、永野氏に関わる資料を所蔵されている帝塚山大学と展覧会を共催します。永野氏の写真には、草創期の奈文研の活動の一端や、1950年代を中心とする時期の文化財の姿が写しとめられています。展覧会では、あまり知られていない草創期の奈文研とそれを支えた写真家をご紹介します。

(企画調整部 三輪 仁美)

会 期：2017年4月29日(土・祝)～5月31日(水)月曜休館

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/> お問い合わせ：☎ 0742-30-6753(連携推進課)



永野太造氏

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2017年3月